

(参考様式2)

社会資本総合整備計画

平成 29 年 3 月 30 日

計画の名称	1. 新東名高速道路や圏央道へのインターチェンジアクセス道路・県央地域等内陸部の連携を強化する都市基盤整備				重点計画の該当	
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)	交付団体	神奈川県、秦野市、厚木市、伊勢原市、 綾瀬市			
計画の目標						

成長戦略と地域の安全安心を支える道路網の整備と活用を目指し、県央地域における新東名高速道路と圏央道のIC開通にあわせたアクセス道路の整備や広域幹線道路網の整備を進める。また、「さがみロボット産業特区」の指定により、国際競争力の強化を図り、交通・物流ネットワーク等の都市インフラ整備を進める。

計画の成果目標 (アウトカム指標)

ICから20分到達圏内の人口を148万人 (H26) から155万人 (H30) に拡大

アウトカム指標の定義及び算定式	ICから20分到達圏内の人口を算出する。			アウトカム指標の現況値及び目標値			備考					
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)									
	148万人		155万人									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	22,633 百万円	A	22,597 百万円	B	0 百万円	C	36 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.2%

交付対象事業

A 地方道路整備事業													事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H26	H27	H28	H29	H30			
1-A1	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 相模原茅ヶ崎・上郷立体	現道拡幅 L=0.80km	海老名市						3,335		
1-A2	街路	一般	神奈川県	直接		S街路	改築	0.55	都市計画道路 湘南新道	道路新設 L=1.28km	平塚市						178	11-A8へ移動	
1-A3	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 酒井金田	交差点改良 L=0.14km	厚木市						24		
1-A4	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 町田厚木・相模が丘	歩道整備 L=0.19km	座間市						30		
1-A5	道路	一般	神奈川県	直接		国道	改築	0.55	一般国道129号・戸田道路	現道拡幅 L=1.20km	厚木市						1,361	11-A1へ移動	
1-A6	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 丸子中山茅ヶ崎・湘南台寒川線	バイパス L=2.30km	藤沢市 寒川町						12	11-A4へ移動	
1-A7	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 大山板戸・大山バイパス	バイパス L=2.23km	伊勢原市						214		
1-A8	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 上粕屋厚木・西富岡バイパス	バイパス L=1.90km	伊勢原市						343	11-A2へ移動	
1-A9	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 相模川自転車道・さがみグリーンライン	自歩道整備 L=10.00km	海老名市 寒川町						180		
1-A10	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 伊勢原津久井・日向	歩道整備 L=0.72km	伊勢原市						171		
1-A11	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 伊勢原津久井・古在家工区(北側)	バイパス L=0.62km	清川村						1,100		
1-A13	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 藤沢座間厚木	バイパス L=1.17km	厚木市						2,464		
1-A14	道路	一般	神奈川県	直接		S街路	改築	0.55	都市計画道路 曾屋鶴巻線	現道拡幅 L=0.32km	秦野市						59	11-A9へ移動	
1-A15	街路	一般	秦野市	直接		S街路	改築	0.55	都市計画道路 曾屋鶴巻線	駅前広場 A=2,300㎡	秦野市						25	11-A13へ移動	
1-A16	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 藤沢座間厚木・綾瀬スマートインターチェンジ	道路新設 L=400m	綾瀬市						648	11-A3へ移動	
1-A17	街路	一般	厚木市	直接		S街路	改築	0.55	都市計画道路 本厚木下津古久線	道路新設 L=1.22km	厚木市						1,201	11-A11から移行	
1-A18	道路	一般	神奈川県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 横浜伊勢原	道路改良 L=2.2km	海老名市						452		
1-A19	街路	一般	厚木市	直接		S街路	改築	0.55	都市計画道路 厚木環状3号線	道路新設 L=1.7km	厚木市						273	11-A12へ移行	
1-A20	道路	一般	厚木市	直接		市町村道	改築	0.55	市道横林上飯山線	道路新設 L=0.4km	厚木市						473		
1-A21	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	改築	0.55	(二) 市道82号線	道路改良 L=460m	伊勢原市						128	3-A152へ移動	
1-A22	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	改築	0.55	(一) 市道4号線	道路改良 L=700m	伊勢原市						311	7-A26へ移動	
1-A23	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 市道123号線	道路改良 L=350m	伊勢原市						70	3-A153へ移動	
1-A24	道路	一般	綾瀬市	直接		市町村道	改築	0.55	市道325号線	道路改良 L=0.7km	綾瀬市						2,546	8-A11へ移動	
1-A25	道路	一般	綾瀬市	直接		市町村道	改築	0.55	都市計画道路並塚笹山線	道路新設 L=0.25km	綾瀬市						195	8-A9へ移動	
1-A26	道路	一般	綾瀬市	直接		市町村道	改築	0.55	綾瀬IC周辺整備事業	道路改良	綾瀬市						2,047	11-A5へ移動	
1-A27	街路	一般	神奈川県	直接		S街路	改築	0.55	都市計画道路 丸子中山茅ヶ崎線	現道拡幅 L=1.02km	大和市						2,250	9-A10から移行	
1-A28	街路	一般	伊勢原市	直接		S街路	改築	0.55	都市計画道路 田中笠窪線	道路新設 L=0.69km	伊勢原市						1,967	9-A9から移行	
1-A29	街路	一般	神奈川県	直接		S街路	改築	0.55	都市計画道路 相模原二ツ塚線	現道拡幅 L=1.75km	座間市 大和市						540		
合計																	22,597		

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
合計												0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
1-C1	計画・調査	一般	神奈川県	直接		スマートIC整備効果検討	0.55	スマートIC整備促進事業	整備効果検討 1式	神奈川県						1	
1-C2	計画・調査	一般	綾瀬市	直接		綾瀬IC周辺道路調査	0.55	綾瀬IC周辺道路検討事業	住民合意形成・意向調査等	綾瀬市						35	3-C1へ移動
合計												36					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
1-C1	上粕屋厚木(1-A8)の実施にあわせ、大山を核とした観光連携を促進するため、新東名高速道路を有効に活用できるスマートICの設置により県西地域の経済活性化を図る。																
1-C2	広域幹線道路の具現化検討及び通過交通における生活道路への侵入防止策の検討を行い、インター周辺の交通環境、住環境の向上を図る。																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H28	H29	H30	H31	H32				
番号															備考		

交付金の執行状況

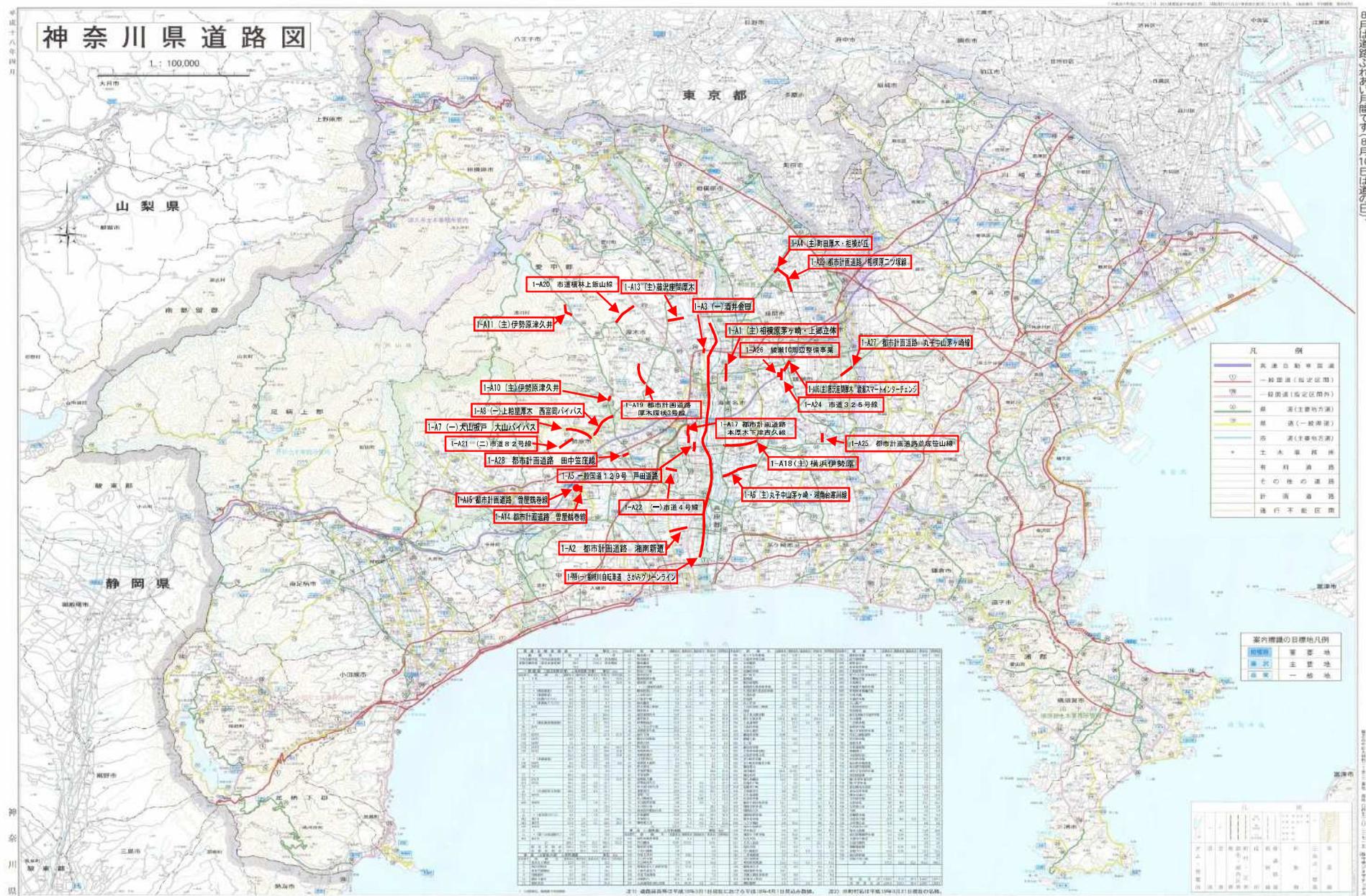
(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	2,477	391			
計画別流用 増△減額 (b)	0	△ 196			
交付額 (c=a+b)	2,477	194			
前年度からの繰越額 (d)	1,140	1,300			
支払済額 (e)	2,314	1,267			
翌年度繰越額 (f)	1,300	227			
うち未契約繰越額 (g)	533	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	3	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	14.8%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	地権者の移転先が見つからず、翌年度の契約とせざるを得なかったため。				
		-			

(参考様式3)

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	1. 新東名高速道路や圏央道へのインターチェンジアクセス道路・圏央道等内陸部の連携を強化する都市基盤整備		
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付団体	神奈川県、秦野市、厚木市、伊勢原市、綾瀬市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称 : 1. 新東名高速道路や圏央道へのインターチェンジアクセス道路・県央地域等内陸部の連携を強化する都市基盤整備

事業主体名 : 神奈川県、秦野市、厚木市、伊勢原市、綾瀬市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	<input type="radio"/>
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	<input type="radio"/>
②定量的指標の明瞭性	<input type="radio"/>
③目標と事業内容の整合性	<input type="radio"/>
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	<input type="radio"/>
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	<input type="radio"/>